

2026 年 7 月 24 日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2026 年 7 月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>
<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。設備投資は、高水準で推移している。輸出は、緩やかに増加している。

こうした中で、生産は、緩やかに増加しつつある。雇用・所得情勢をみると、改善している。

6月短観における企業の業況感は、幾分悪化している。

先行きについては、今後の中東情勢の展開や原油価格の動向、AI関連需要を含む海外の経済・物価動向、コスト高とその波及などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。
需要項目	個人消費	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。
	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
	公共投資	増加している。	増加している。
	設備投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	輸出	持ち直している。	緩やかに増加している。
生産		横ばい圏内の動きとなっている。	緩やかに増加しつつある。
雇用・所得		改善している。	改善している。

2. 個人消費

- 個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。

▽個人消費関連の動向

非 耐 久 消 費 財	百 貨 店 売 上 高	高水準で推移している。
	ス ー パ ー 売 上 高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	堅調に推移している。
耐 久 消 費 財	家 電 販 売	持ち直している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	持ち直している。
サ ー ビ ス	旅 行 ・ 観 光	高水準で推移している。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、弱めの動きとなっている。

5月の新設住宅着工戸数は、貸家と持家の増加を主因に前年を上回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、増加している。

6月の公共工事請負金額は、国の増加を主因に前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、高水準で推移している。

6月短観（九州・沖縄地区）における2026年度の設備投資（除く電気・ガス）は、前年を上回る計画となっている。

5月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を下回った。

6. 輸出

- 輸出は、緩やかに増加している。

6月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、緩やかに増加しつつある。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、持ち直しつつある。船舶は、増加している。
電子部品・デバイス	増加している。
汎用・生産用 ・業務用機械	振れを伴いつつも増加基調にある。
化 学	持ち直している。
鉄鋼・非鉄金属	弱含んでいる。
食 料 品	振れを伴いつつも減少基調にある。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、改善している。

労働需給をみると、5月の有効求人倍率は、前月から横ばいとなった。

4月の雇用者所得総額は、現金給与総額の増加により前年を上回った。

9. 物価

- 5月の消費者物価（九州地方、生鮮食品を除く総合）は、前年比+1.3%となった。

10. 金融

- 5月の預金残高をみると、法人預金や個人預金を中心に前年を上回った。

- 5月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。

- 企業倒産は、振れを伴いつつ増加している。

6月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を上回った。

以 上